

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



事業管理者より
新年のあいさつ

「消費税増税は吉か凶か」

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆



新年おめでとうございます。

昨年4月にフルオープンしました新病院は、おかげさまで市民の皆さんから大変好評をもって迎えられています。ご意見箱にいただく内容も苦情に比べて感謝が目に見えて増えております。ただ単に「きれいになった」「便利になった」など施設や設備へのお褒めにとどまらず、「親切になった」「丁寧になった」など職員の対応を喜んでいただくようになりました。この度の病院新築リニューアルによって、芦屋病院で働く職員のやる気もいっそう引き出されたようです。入院患者数も順調に増加し、十数年ぶりに病床稼働率100%の日もありました。とは言い午年の今年、手綱をゆるめず、気を引き締めて病院運営に努めたいと存じます。

アベノミクスで景気が上ブレしたように見えた昨年でしたが、今春にはいよいよ消費税の増税が行われます。買い控え等でせっかく上向いた景気が下降しないか不安です。また増税による支出増に見合うだけの賃金増を確保してもらいたいのは誰も思うところでしょう。増えた税収を年金・医療・福祉の社会保障に充当して、安心・安全の社会の実現を願うばかりです。経済が負のサイクルに陥ることなく、各種政策がかみ合っ

て相乗効果を生む社会を期待します。
TPP（環太平洋パートナーシップ協定）の行方は定かではありませんが、自由診療と保険診療の混合診療は確実に導入されます。現状の規制を取っ払った医療特区の制定や外国人医療者による診療行為も許可されるでしょう。行き着くところが、わが国の誇る「国民皆保険制度」の崩壊にならないか、最も懸念されます。外交は各国のエゴのぶつかり合いです。医療がその犠牲にならないことを祈念します。

今春は、芦屋病院のような小規模病院にとって厳しいと予測される診療報酬の改定も行われます。今まで以上の手綱捌きが要求されますが、市内や近隣の診療施設との連携を密にして、住民に満足される医療の提供と安定した病院運営を目指します。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



平日、お仕事や
子育てで忙しい方へ
お勧めします!!

休日がん検診へお越し下さい!

日 時 平成26年2月23日(日) 9時～正午

検 査 内 容

- | | |
|---|---------------------------------|
| (1) 乳がん検診(触診のみ)
対象：30歳から39歳までの市民 …… 料金/400円 | (4) 胃がんハイリスク検診(採血) …… 料金/4,500円 |
| (2) 乳がん検診(マンモグラフィー併用)
対象：40歳以上の市民 …… 料金/2,000円 | (5) 肺がん検診(CT) …… 料金/8,000円 |
| (3) 子宮がん検診(問診・細胞診)
対象：20歳以上の市民 …… 料金/1,000円 | (6) 大腸がん検診(便潜血) …… 料金/1,500円 |
| | (7) 肝炎ウイルス検診(採血) …… 料金/3,300円 |

※料金は全て税込み料金です。(4)～(7)の検診はどなたでもお受け頂けます。

☆検診は予約制です。検診のお申し込みは・・・市立芦屋病院 医事課検診担当まで TEL0797-31-2156

あしやホスピタルフェスタ2013を開催しました!

11月17日、「あしやホスピタルフェスタ2013」を開催しました。
 病院初の試みになる今回のフェスタ、たくさんの方に足を運んでもらえるか心配でしたが
 秋晴れの暖かいお天気だったこともあり、約500人の方々にご来場頂きました。

メインステージ



ミニ公開講座



マチネーコンサート



健康ダンス

メインステージでは西浦副病院長、竹田診療局長によるミニ講座や、マジックショー、マチネーコンサート、健康ダンスが開催されました。特にマチネーコンサートは普段触れる事のない大きなマリンバとピアノの美しい音色、奏者のマレット使いに皆さんくぎづけでした。ステージ最後は病棟師長による健康ダンスが開催され、程よく汗をかいて終了しました。

体験型企画



筋力測定



骨密度測定



血管年齢測定



調剤体験



試食・試飲体験



腹腔鏡体験

フェスタでは様々な体験型企画が行なわれました。

大人気だったのはフェスタ開催前から問い合わせの多かった骨密度・血管年齢測定コーナーや筋力測定コーナーで、あっという間にブースの前には行列ができていました。技師によるアドバイスも日常の生活に役立てていただければと思います。

小さな子供達には腹腔鏡体験が人気で盛り上がっていました。手術機器である腹腔鏡を操作してボックスの中のお菓子をつかみ取るクレーンゲーム的な企画で、真剣にモニターを見ながら上手にお菓子を掴んでいました。他にもお菓子を薬に見立てて行った調剤体験や、栄養補助食品の試食、試飲を行いました。



看護体験



救急体験



救急車乗車体験

看護体験コーナーでは、実際に聴診器を使用したり、血圧測定や妊婦体験などが行えるほか、子供達が白衣やナース服に着替え、医師や看護師に変身し写真撮影ができるコーナーも設けられました。また、本物の救急車に乗車できるコーナーや、芦屋市の救急隊員によるAEDや心肺蘇生法を使用した救急体験もありました。いざという時のために、真剣に救急隊員の話聞いておられる来場者の姿が印象的でした。

その他にもいろんな企画があり、にぎわいました!!



各科紹介ポスター



職員参加企画 みんなの1枚



ほのぼのコンサート



献血コーナー

皆さんご協力有難うございました



はばたんも登場しました!

当院の医師による力作!各診療科の診療内容や特徴をまとめたポスターも多数展示され、来場者の方も興味深く見られていました。職員有志のほのぼのコンサートも3部にわたって演奏され、こちらも盛り上っていました。このように様々な企画が開催された今回のホスピタルフェスタ、いかがでしたか? 次回はこんな企画をやってほしい!といったご意見がありましたらぜひお待ちしております。

冬の『公開講座』のご案内

場 所：芦屋市民センター401号室
 時 間：午後2時～午後3時30分
 料金：1回/200円
 問い合わせ先：芦屋市立公民館
 (0797-35-0700)

日 程	内 容	講 師
1月18日(土)	早めに治そう狭心症 ～心筋梗塞にならないために～	循環器内科部長 北川 泰生
2月8日(土)	めまいのお話	兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科 坂 直樹 先生
3月8日(土)	健康のために、 今歯科でできること	芦屋メディカルコミュニティ・山内歯科口腔外科 山内 義之 先生

1月 院内の催し・各教室のご案内

糖尿病教室 ※毎月 第2金曜日開催

日 時 1月10日(金)13時30分～15時

場 所 2階病棟 講堂

内 容 糖尿病と合併症
血管合併症

料 金 無 料



芦屋病院 マチネ—コンサート

日 時 1月12日(日)14時30分～

場 所 外来ホール 黄色いピアノ前

出演者 寺脇 優子、寺脇 佐和子
金澤 佳代子

内 容 新春コンサート



両親学級 ※毎月 第2土曜日開催

日 時 1月11日(土)10時～12時

場 所 3階東病棟

内 容 お産の経過・赤ちゃんのお風呂

対 象 妊娠22週以降の妊婦とパートナー・5組

問い合わせ 産婦人科外来(電話は13時～16時)

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

馬の脚

私自身はまったく経験がないのですが、公営ギャンブルといえば競馬、競輪、競艇が相場でしょう。もっとも競馬を愛する人は、貴族のスポーツだと言って後者二者とは一線を画しているようです。たしかに世界最古の競馬場を持つイギリスでは、サッカーに次ぐ観客動員数を誇る国民的スポーツです。かたやパリ郊外のロンシャン競馬場で行われる凱旋門賞は観客の華麗なファッションでも有名です。2013年には三冠馬オルフェーブルが遠征し、惜しくも2位にこそ入りましたが、日本調教馬の優勝は悲願に終わっています。

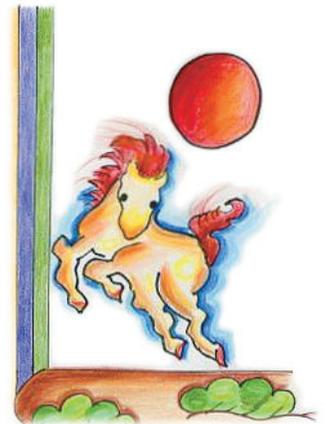
競走馬は騎手も大事ですが、なんとと言っても脚力が命です。競馬用語にも「脚」がらみの言葉がよく出てきます。曰く、「差し脚」「末脚」「ジリ脚」「二の脚」「利き脚」「決め脚」「脚抜き」など枚挙に暇ありません。かほど馬は「脚」が本命なのです。あっ、本命も競馬用語ですね。

芥川龍之介にすばり「馬の脚」という作品があります。1925年(大正14年)初出の綺談で、1916年の作品「鼻」に匹敵する奇想天外なストーリーなので、ご存じの方も多いでしょう。大正時代の北京在住の商社マン忍野半三郎は脳溢血で急死し、あの世の入り口で手続きを踏みます。ここで頓死は人違いであったことが判明しますが、既に日を経ているため脚が腐敗しています。天国(地獄?)の担当者は替わりの脚が見つからないからと言って、馬の脚をつけて彼をこの世に送り返します。ここから半三郎の悲喜劇が始まります。移植された脚は主人公の意志と無関係に本能の赴くままに行動します。蒙古産の馬だったらしく、蒙古の春風で運ばれた黄塵を感じると興奮し、あげくに交尾を求めて駆け回る始末です。ついにはせつなく復活したのに、行方をくらましてしまいます。失踪した夫を待つ妻の許に、見違えるようにやつれた半三

郎が現れますが、ズボンの中から毛だらけの馬の脚を露出しています。そして蹄の音を残して、今度こそ姿を消してしまいます。異国を舞台にした何とも幻想的な短篇で、ここに見られる「再生」や「狂気」をテーマに評論や研究書が生まれています。

馬が人の脚になるのとは逆に、人が馬の脚になるのが歌舞伎など芝居に見られる馬です。張り子の馬を二人で被って、前脚と後ろ脚になります。下手な役者の代名詞に「馬の脚」が使われ、大根役者の語源も「馬の脚」が大根を連想させたとする説もあります。「馬脚を露わす」は隠していた悪事や本性が露見することですし、とかく「馬の脚」は高く評価されないようです。名匠成瀬巳喜男の監督・脚本作品「旅役者」(1940年)では、後ろ脚5年、前脚10年と「馬の脚」といっても、その研究に励む旅芸人の悲哀を取り上げています。馬の脚がいなくては芝居も成り立たないわけですし、脚だけで演技し、舞台を盛り上げることも可能ですから、「馬の脚」だからと言って一概に馬鹿には出来ません。

さて午(うま)年の今年、芦屋病院も駿馬を目指して駆け抜けたところですが、それには「馬の脚」をはじめそれぞれのパートが調和して力を発揮することです。市民からの励ましと温かいムチをお願いいたします。



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内

----- 交通案内 -----

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

- タクシー 約5分
- バス 約15分
JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番
- 徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用下さい(無料)

市立芦屋病院の理念

基本理念
生命の尊厳を基本とし、安全で良質な医療を提供します
芦屋市の中核病院として、地域社会に貢献します

経営理念
あい(愛)・しあわせ(幸せ)・やさしさ(優しさ)



日本病院機能評価機構 認定施設 (ver. 6.0)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>